

郡上市民病院の経営改善は不可避です

郡上市民病院は、平成18年5月に現在の建物で診療を開始し、約20年間にわたり郡上地域の基幹病院として地域医療を支えてまいりました。しかしこの20年間に人口偏在、医療ニーズの多様化、医療機器や薬品の価格上昇、医師などの働き方改革など病院を取り巻く医療環境は大きく変容し、病院は大変厳しい経営を余儀なくされています。

こうした状況を受け、郡上市民病院では昨年度「郡上市民病院経営改善計画」を策定し、令和8年度から計画を推進しています。

公立病院の赤字は構造的な問題です

市民のみなさんが病院で医療サービスを受けた時に支払う料金は、国によって厳格に定められていますので、医療サービス提供にかかる人件費や光熱費などが増加しても、病院の判断で医療費に転嫁することはできません。また、病院の体力や機能に応じて患者様に請求できる料金は異なりますので、体力や機能が不十分な病院は同じ医療を提供しても十分な診療収入を得ることができません。

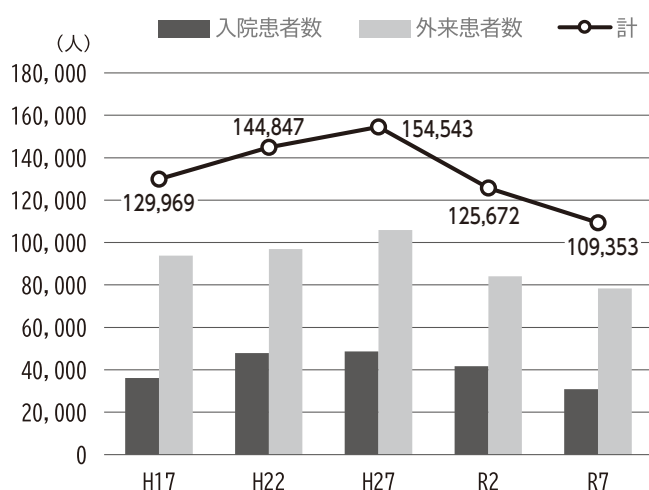
医療環境の変化に対応できず病院の体力と機能が整わなければ、病院の収支バランスは悪化し経営は困難になります。これは構造的な問題で、病院職員の努力だけでは解決できません。実際、日本病院協会などの令和6年度の調査によれば、68%の自治体病院が赤字経営となっていて、病院の存続には構造的な変革が必要とされています。

国は公立病院の存続と持続可能な医療提供のために、公立病院に病院機能の明確化と整備、医師など医療スタッフの働き方改革などを強く求めています。病院の機能編成と医療スタッフの確保は喫緊の課題です。

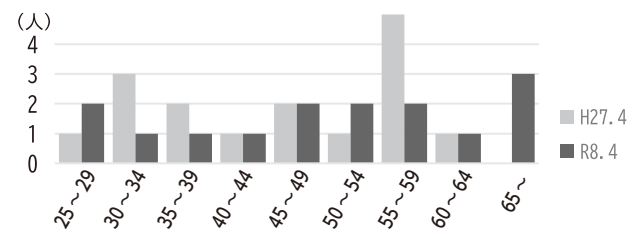
郡上市民病院は存続の危機にあります

郡上市民病院は、郡上市における24時間対応の二次救急医療、周産期医療、透析センターの整備や在宅医療など地域に欠かすことができない医療を提供してきました。しかし、市民の医療ニーズの多様化、医療スタッフの高年齢化、医療設備の老朽化、新型コロナウイルス感染症などにより、病院の資産と経常収支は落ち込み非常に厳しい病院経営に陥っています。このままでは二次救急医療を提供できる病院としての存続が難しくなる恐れがあります。

【総患者数の推移（入院・外来）】



【常勤医師の年齢別人数推移】



【看護職員数の推移】

		H27	R 7	増減
看護師 准看護師 保健師 助産師	正職員	91	85	▲ 6
	会計年度 任用職員	26	36	+ 10

※特に看護師等は、正職員の減少により病棟夜勤者の確保が難しくなっています。

患者数の減少

人口減少、受診形態の変化などの要因により患者数が減少

【患者総計＜入院・外来＞】

平成27年度 : 154,543人
令和7年度 : 109,353人

ここ10年で約3割減少

人手不足・高年齢化

医師及び看護師をはじめとする医療職の人員不足、高年齢化

【常勤医師の平均年齢】

平成27年4月 : 45歳
令和8年4月 : 50歳

ここ10年で5歳上昇

施設・機器の老朽化

現在の建物は20年を経過し不具合が多発。医療機器も老朽化

今後、多発する設備・機器の不具合に対応するための修繕のほか、多額の費用を要する空調機器、照明（LED化）器具、非常用自家発電装置等の更新が必須

病院機能の適正化

不足人員の確保

計画的営繕の実施

経営改善に向け構造改革を柱とする12の施策を実施します

郡上市民病院の存在意義は、郡上市の基幹病院として市民のみなさんに二次救急医療と地域の高度な医療を提供し、市民の健康福祉に貢献することにあります。市民病院が二次救急医療を提供できなければ、市民のみなさんは入院が必要な急性の病気になった時には市民病院で治療を受けることができなくなります。この事態を避ける為に、病院の機能再編と財政の健全化は不可欠です。そこで構造改革を柱とする経営改善の12の施策を立案し、実施しつつあります。

構造改革に最も重要なものは、病院機能の明確化と整備および医療スタッフの確保です。郡上市民病院が持続的に市民の健康を守るために、現在の急性期と慢性期の医療機能から、急性期と亜急性期（回復期）の医療機能に転換し診療体力の回復に努めます。医療スタッフの充実と矜持は、病院の診療体力を回復させる大きな原動力となります。また、慢性期医療を提供する医療機関などときめ細やかな連携を図っていきます。病院の構造改革を進めるにあたり、市民のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

【施策1】病棟機能の再編

療養病床は、介護施設の入居待ち患者数の減少により稼働率が低い状態が続いていることから、在宅や介護施設等への復帰を主目的とする地域包括ケア病床への転換を図ります。

【施策2】一般病棟の稼働向上

八幡病院との入院機能統合により患者の円滑な受入れだけでなく、他院との連携により救急から入院、紹介患者の確保に努め、病床稼働率の向上を図ります。

【施策3】診療報酬算定の向上

リハビリスタッフを増員するなど、日常生活動作の改善により入院患者の早期退院につなげるなどコメディカル部門の活発化、効率化を図ります。

【施策4】健診部門の稼働向上

院内での連携に努めこれまでの検査業務の効率化を図りながら、PRを促進し受診件数の増加を図ります。

【施策5】人工透析の受入維持・拡大

人工透析については、現在満床近く受入れていることから、今後も利用を希望される患者を円滑に受入れできるよう検討を進めます。

【施策6】在宅部門の運営見直し

在宅部門について、日中の対応を強化します。なお、夜間急変時は救急搬送を利用するなど、他の医療機関等との連携・調整等も踏まえ柔軟な対応を検討します。

【施策7】人員配置に見合った業務運営体制の変更

医療従事者不足が常態化する中、これまでの取組みを見直し、職員間の連携により医療の質の向上を図りながら、業務の効率化に努めます。

【施策8】地域ニーズに見合った診療科構成の変更

今後の診療科の構成については、市内の病院及び診療所の状況や中濃圏域の病院とも情報連携しながら方向性を検討します。

【施策9】職種別の人員配置の適正化

医療従事者が不足する部門においては、今後の病院機能転換も踏まえた採用の強化等による職員配置の適正化を図ります。

【施策 10】 医療機器配置の適正化

医療機器の稼働状況进行分析し、稼働率を上げていくほか、今後の機器整備にあたっては、地域医療全体をみた必要性や採算性も重視します。そのため必要に応じて外部の検査機関への発注についても検討します。

【施策 11】 非常勤医師報酬見直し

非常勤医師の報酬を検証して適正な人員配置を実施します。なお、常勤医師が配置されていない診療科もあることから、施策 8 の検討の結果を踏まえた対応を図ります。

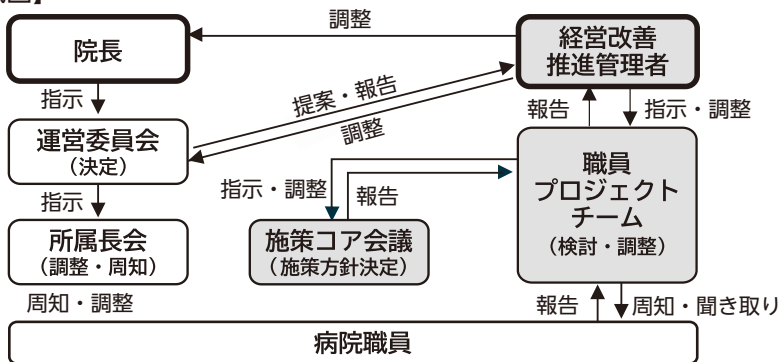
【施策 12】 地域医療連携推進法人への参画を通じた病院間連携強化

複数の医療機関等が参加することで協調を進め、人材不足や物価高騰等の課題を解消し、質が高く効率的な医療を提供するため「地域医療連携推進法人」への参画について検討を進めます。

職員チームによるプロジェクト始動

今回の経営改善計画を推進するため、マネジメントと調整役を担う経営改善推進管理者を設置するとともに、経営改善の取組の執行管理を行うための中堅職員によるプロジェクトチームや各施策を実行するために関係部署が連携した取組み（施策コア会議）を進めています。今後、職員の意識改革による経営改善に向け、施策推進に努めます。

【組織図】



先進病院の職員との意見交換会の様子

問 郡上市民病院総務課 65-4140

郡上八幡城下町プラザ

農家直送の新鮮野菜、生花（仏花）、郡上土産物販売



株式会社 郡上電気

八幡町小野3丁目

☎0575-65-2378

電気のお困りごと

何でもご相談ください

★社員募集中★



広告

旬の料理を囲んで ご歓談



友人同士の集まりや同窓会、祝賀会、法要など、様々な宴会に対応いたします。お気軽にご相談ください。

郡上八幡 ホテル
積翠園
(0575)65-3101



ウォーターサーバー
をレンタルします!!

ご家庭やお店、
会社での利用
が増えてます!

白山連峰からの湧きもの
郡上の天然水

熱中症予防対策に

災害対策用保存水に

☎0120-417-940

**友だち
募集中**

郡上の天然水 LINE 公式アカウント

@391hmatk

LINEでお問い合わせ受付中!

